

平成 28 年度第 2 回理工学分野連携グループの合同委員会議事録
学系別 F D / I C T 活用研究委員会（物理学、化学、機械工学、建築学、経営工学）
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（電気通信工学、土木工学、生物学）

- I. 日 時：平成 28 年 10 月 9 日（日） 11:00～13:00
- II. 会 場：私学会館（アルカディア市ヶ谷） 5 階 大雪西
- III. 出席者：機械工学 角田担当理事、田辺委員長、青木委員
建築学 衣袋委員長、澤田委員、松岡委員、関口アドバイザー
経営工学 渡邊委員長、井上委員、小池委員
物理学 藤原委員長、寺田副委員長、穴田委員、太田アドバイザー
化学 及川委員長、小林副委員長、幅田委員、庄野委員、武岡委員、堀合アドバイザー
電気通信工学 高原委員
土木工学 栗原委員
生物学 佐野委員、西村委員
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議事概要

1. 対話集会の日程場所

- 平成 28 年 12 月 23 日（金）14:00～17:00 で開催することが確認された。場所については、市ヶ谷周辺の大学を借用することで事務局が後日調整することにした。

2. 話題提供について

委員から 3 件の候補を提案して検討を行い、以下のような意見があった。

- 専門教育から見た教養教育との関係、教養と専門の連携を通じたカリキュラム改善の内容が必要ではないか。
- 学内の領域を超えた提案型の学び、分野融合の話題が必要ではないか。
- アクティブ・ラーニングで知識定着のための振り返りとしての効果の話題ができないか。

以上のような意見交換から、話題提供は以下の 3 つに確定させた。

- ICTを活用したアクティブ・ラーニングの振り返り
- 分野横断型PBL教育の取り組みと今後の展開
- 学位プログラムを目指した理工系教育の進め方

3. 意見交換のテーマについて

- 教員間・外部機関との連携に伴う課題、授業科目の可視化などの意見があった。
- 多様な価値観を持たせること、専門分野のため教養は下準備となること、幅広い知識や興味付けを行うことなどが初年次教育で求められている。
- 分野横断に関連する教材について意見交換してはどうかなどの意見があった。

V. 今後の予定

開催要項をメールで確定させ、12月23日に対話集会を開催することにした。